

# 大阪大学適塾記念センターとは

2011年、大阪大学創立80周年を機に適塾記念センターが設立されました。適塾運営・

大阪学・オランダ学の三部門を擁し、適塾建物および歴史資料の維持管理、近世以降の大坂の学問・文化や日蘭関係の研究を行うほか、阪大の源流の一つである適塾を顕彰するため、見学会・展覧会・講演会等の様々な社会教育事業を展開しています。

## 【令和二年度のイベント】

### ○展覧会

#### 適塾特別展示 武谷棕亭生誕200年記念

(於適塾・11/17~29)

適塾で学んだ武谷棕亭は、福岡での医学の発展に寄与し、九州大学医学部の源流である福岡藩医学校「贊生館」の寄生の親ともなりました。今回は武谷棕亭の生誕200年を記念し、九州大学との巡回展として、まずは適塾で開催しました。緒方洪庵と武谷棕亭が交わした書状や『虎狼病治準』などを展示し、師弟の学術的交流および棕亭の功績を知る貴重な機会となりました。

### ○講演会

#### 適塾講座「A Narrow Bridge (一本の細い橋) ~オランダと日本、400年の文化交流史から~

(於中之島センター)

松野明久(国共)「長き夢より覚

めのち~幕末以後の日蘭関係」

(10/29)

菅原由美(言)「17世紀バタヴィア

におけるオランダ人と欧亜混血兒」

(11/19)

ヤーデヨング(グローイング)「オランダで「ふるさと」に帰った気がする? オランダにおける文久遣欧使節

(1862~1863年)の体験とその重要性」ヨーロッパ

からの比較の視点で」(12/10)

\*中止

### 適塾記念講演会 (於中之島センター・12/8) \*中止

## 適塾記念会入会のス、メ

適塾記念会は緒方洪庵・適塾およびその関係者の業績を顕彰し、大阪の学問・文化の伝統を発信することを目的に、1952年に創設されました。また適塾建物や適塾関係資料等の文化財保護活動にも取り組んでいます。適塾記念会に入会し、これらの活動にご支援・ご協力をお願いします。

会員特典	会員特典
会費 普通会員 年間1口 2,000円	会費 賛助会員 年間1口 10,000円
いずれも複数年・複数口での申し込み可。	普通会員5年間(1万円)がおスレメ!
特典① 適塾の参観料がいつでも無料に!	特典② 適塾見学会(年2回、前ページ参照)の無料参加が可能に!
特典③ 会誌「適塾」(年刊)を無料でお届け(ご希望のバックナンバーも)! 投稿資格もあり!	特典④ 「大阪大学適塾記念センター所蔵適塾関係資料目録」を希望者に無償頒布!
特典⑤ 適塾で販売する図録「新版 緒方洪庵と適塾」・絵葉書が1割引きに!	特典⑥ イベントの案内を随时お届け!
※詳細については大阪大学適塾記念センターHPをご覧ください。	



大阪大学適塾記念センター ニューズレター「適塾かわら版」卷五

編集・発行: 大阪大学適塾記念センター デザイン・印刷: cocotier

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13 大阪大学会館内 電話 06-6850-5016

<http://www.tekijuku.osaka-u.ac.jp>

2021年6月30日発行



# 適塾人物かごみ

## 其ノ五 長与専斎

内務省衛生局長

大日本私立衛生学会会頭

生没

天保九年（明治三五年）（1838～1902）

出身

肥前国彼杵郡大村（長崎県大村市久原）

業績

『医制』（1873）『コレラ予防心得』（1877）

大村藩医長与俊達の養子中庵の子として誕生。安政元年（1854）に適塾に入門し、塾頭となつた。

退塾する際、緒方洪庵から我が蘭学一変の時節到来との勧めで、長崎の医学伝習所に招へいされたオランダ人医師ボンの指導を仰いだ。幕府崩壊後は長崎医学校の学頭となり、教育制度改革に当たつた。

明治4年（1871）に岩倉遣欧使節に加わり、ベルリンで衛生行政の存在を知る。同6年に帰国し、文部省医務局長（同8年から内務省衛生局長）となり、「医制」制定、医師開業試験制度の発足、防疫・検疫制度の導入、牛痘種継所の設置等、近代日本の衛生行政の基礎を築いた。同16年（1883）には大日本私立衛生会を発足させ、衛生思想の普及に努めた。

「健康保護の事に至りては、中略、畢生の事業としておのれ自らこれに任すべしと、ここにひそかに志を起し、その後専らこの事の調査にかかりける」（『松香私志』1897）



肖像：国立国会図書館  
「近代日本人の肖像」より転載

# 適塾見どころ

## 其ノ五 階段

適塾には四つの階段があります。一つは台所の南側から二階へ上の階段で、もう一つは二階の塾生部屋から玄関部屋へ下りる階段です。この二つは見学の際、実際に上り下りできますが、これらとは別に、現在使正在してない階段もあります。塾生大部屋（二階）の西側の小部屋と玄関横をつなぐ階段のほか、少し気づきにくいですが台所の北東部にも設置してあります。



適塾とは蘭方医・緒方洪庵（1810-1863）が天保9年（1838）、大阪に開いた蘭学塾です。全国から千名にも上る塾生を集め、大村益次郎・福沢諭吉・長与専斎をはじめ、日本の近代化に貢献する人材を輩出しました。北浜に残る適塾建物は現存唯一の蘭学塾遺構として、また近世大阪を代表する町屋建築としても貴重で、昭和16年（1941）に国史跡、同39年に国の重要文化財に指定されています。ここでは同55年から一般公開されている適塾の見どころについて紹介していきます。

台所の南から二階へ上がる階段は、階段それ自体が筆筒のような収納スペースになっています。側面から物の出し入れができます。古民家ではよく見られ、箱階段（古くは箱梯子）などと呼ばれます。適塾は改修時に大改修時の調査によると、この階段も二階と往来自できます。そうですが、現在では見学の安全に配慮して階段口を封鎖しています。※引き出しの開閉はご遠慮ください！

### 適塾参観案内

【最寄り駅】京阪淀屋橋駅・北浜駅、大阪メトロ淀屋橋駅下車 徒歩5分

【開館時間】午前10時～午後4時

【休館日】月曜日（国民の祝日は開館）  
国民の祝日の翌日（土・日・祝は開館）  
年末年始（12月28日～1月4日）

【参観料】一般 270円  
高校・大学生等 140円  
中学生以下 無料

※適塾記念会会員および阪大生は無料！  
住所：大阪市中央区北浜3丁目3-8  
電話：06-6231-1970



荷物を預けて快適に見学できます。



日・英・中・韓の4カ国語を選択できる音声ガイドを用意しています。（無料）海外からの研究者や留学生など、お客様の案内にも最適です。

**1 広瀬旭莊墓所**

広瀬旭莊は天保7年（1836）に来坂した漢学者で、緒方洪庵との親交は日記「日間瑣事備忘」に詳しい。元・淡窓が郷里の大田を開いた咸宜園からは武谷棕亭・大村益次郎等が適塾に入り、両塾の教育制度には類似性が認められる墓所の黄檗宗邦福寺（現・続国寺）は普茶料理や温泉での知り合い、麻田剛立に天文學を学び、貴政改曆の中心的役割を果たした間重富（長連）も眠る。続国寺は朝鮮半島の影響下、在日朝鮮人労働者等を供養し、民族統一を願つてベルリンの壁を寄贈している。

**2 旧黒田藩蔵敷長屋門**

江戸時代の諸藩が都市部に設置した蔵敷は、大坂では中之島周辺に集中していた。黒田藩蔵敷は、大坂島三井ビル付近に存在し、長屋門は昭和8年（1933）同ビル建設に際し移築された。棕亭は、藩主・黒田長溥の侍医として参勤交代に付き従い、この長屋門は現存する数少ない蔵敷の遺構である。洪庵・棕亭子弟がくつった点でも貴重である。

**3 第五回内国勧業博覧会会場跡**

明治36年（1903）に開催された、最大の展望台である大林高塔には大阪初のエレベーターが設置され、アメリカ館・台湾館が国際色を加え、不思議館では電気応用舞踏が人気を呼び、夜間はイルミネーションで照らされた。審査総長には適塾出身の大鳥圭介が入っている。跡地は天王寺公園および新世界となつた。

**4 天王寺公園**

明治42年（1909）に東部同45年に西部が開園され、中之島公園に次ぐ大阪市二番目の動物園同9年に市立天王寺植物園が開設され、翌年には市立美術館の用地として住友家から邸宅および茶臼山一帯が寄付され、昭和11年（1936）に完成した。戦時中は動員除外分、美術館に高射砲設置、戦後は米軍接收を経て大阪市天王寺区茶臼山町1～6・浪速区恵美須東1～3に至る。

**5 慶沢園**

茶臼山にあつた住友家の庭園。明治41年（1908）の着工から10年をかけ完成。設計は木津隼齋造園は当時の有名な庭師小川治兵衛。泉式回遊庭園で、全国各地から名木・名石が集められた。友春翠が昭代の恩惠祖先の余沢から恵沢園と名付けたが、のち現在の文字に改めた。大正10年（1921）本邸敷地および茶臼山一帯の土地とともに大阪市に寄贈され、現在では茶屋や数寄屋造風の建物が設けられている。

**6 大阪国技館跡**

江戸時代は江戸・京都とともに人気を博した大阪相撲も、徐々に江戸・東京に水をあけられるなか、大正8年（1919）に新世界に鉄筋コンクリート・瓦造で丸屋根の洋風建築の国技館が竣工した。大正16年（1927）に日本相撲協会が成立したが、同14年に東京と合併して大阪市に転用され、戦前に解体された。

**7 ルナパーク跡**

明治45年（1912）開業の新世界南半の中心施設として誕生したルナパークは、ニューヨーク・コニー・アイランの遊園地に由来し、月世界旅行という物語を疑似体験できるアトラクションであった。不思議館では電気仕掛け人形が演技し、北欧をイメージしたホワイトタワーにはアメリカの流行神ビリケンを祀り、ロープウェイで通天閣とつながつていた。

**8 通天閣**

新世界のシンボルとして明治45年（1912）に竣工した高さ75m、凱旋門風のビルにエッフェル塔の鉄塔を組み合わせるバリを意識した建造物であった。昭和18年（1943）に直下の映画館・大橋座の火災で延焼し、鉄材が重ね材に献納された。同29年、通天閣観光が竣工費3億4千万円で再開設され、昭和31年に2代目が竣工し、現在は日立が広告を掲げている。昭和37年には棋士・阪田三吉を偲ぶ王将碑が附近に建てられた。

**9 参加者の声**

・天王寺はたまに来るけど、天王寺には行ったことがない。  
・内国博覧会に以前から興味がありましたが、良かつたと思います。  
・位置関係も含めイメージがわきました。

・天王寺はたまに来るけど、天王寺には行ったことがない。  
・内国博覧会に以前から興味がありましたが、良かつたと思います。  
・位置関係も含めイメージがわきました。

**大阪メトロ谷町線**

天王寺公園

広瀬旭莊墓所（四天王寺七宮）

慶沢園

1 旧黒田藩蔵敷長屋門

2 通天閣

3 第五回内国勧業博覧会会場跡

4 大阪国技館跡

5 慶沢園

6 大阪国技館跡

7 ルナパーク跡

8 通天閣

新今宮駅

南海本線

阪堺電軌・阪堺線

JR

大阪メトロ御堂筋線

天王寺駅

明治42年（1909）に東部同45年に西部が開園され、中之島公園に次ぐ大阪市二番目の動物園同9年に市立天王寺植物園が開設され、翌年には市立美術館の用地として住友家から邸宅および茶臼山一帯が寄付され、昭和11年（1936）に完成した。戦時中は動員除外分、美術館に高射砲設置、戦後は米軍接收を経て大阪市天王寺区茶臼山町1～5・6・浪速区恵美須東1～3に至る。

大阪市天王寺区茶臼山町1～5・6・浪速区恵美須東1～3

教員M ▶ 甲子園でもおなじみ大阪桐蔭高校吹奏楽部がオリジナルのミュージカル「OGATA洪庵の妻」を創作しました！ ウェブでも鑑賞できます。ストーリーでは階段がカギに！

教員M

▶

「緒方洪庵」という銘柄のお酒を造っています。詳しく述べてください。

野村

▶

で検索！